

# 東日本大震災被害の記録(市町村総括表)

市町村名	仙台市	所在地	仙台市青葉区国分町三丁目7番1号			
1 東日本大震災における管内の被害状況(概略)		最大震度	6強	最大津波深	7.2m	
<p>東日本大震災の最大震度は「6強」、沿岸部で8、110世帯において浸水被害が発生した。この被害により学校を含む市内288箇所の避難所に非難した住民は最大で105,947人であった。</p> <p>震災による市内全体の被害としては、平成24年1月29日現在において、市有施設関係約3,270億円、その他公共施設約1,452億円、住宅・宅地約6,086億円、農林水産業関係約729億円、商工業関係約2,147億円など被害推計額約1兆3,684億円となっている。</p>						
	被災時の学校数(H23.3.11現在)	東日本大震災で施設に何らかの被害があった学校数(a)	(a)のうち津波波浸水被害があった学校数	(a)のうち地域住民の避難所となった学校数	(a)のうち施設の復旧を行った学校数(簡易な修繕等も含む)	(a)のうち仮設校舎や他校への間借りの対応をした学校数
幼稚園	2	2	0	0	2	0
小学校	128	128	3	109	128	6
中学校	64	64	0	56	64	4
中等教育学校	1	1	0	1	1	0
特別支援学校	1	1	0	0	1	0
高等学校	5	5	0	2	5	0
共同調理場	6	5	0	0	5	0
合計	207	206	3	168	206	10
2 東日本大震災で学校施設の復旧に要した経費						
復旧費総額						
< 経費の財源内訳 >						
11,374,608,537 円		国庫補助		4,110,322,000 円		
注1) 学校施設の災害復旧のために支出した予算の総額を記入して下さい。		一般財源		7,264,286,537 円		
注2) 復旧関連の予算を複数年で支出している場合は合計額を記入して下さい。						
3 東日本大震災での被災を受けて、学校施設についてお答えください。(自由記述)						
① 東日本大震災の被災後、学校施設に関して教育委員会として最優先に取った対応を教えてください。 (共通) 施設の被害状況の調査						
② 被災した学校施設の復旧を進める上で、一番苦慮した(困った)ことは？ 設計業者及び工事業者が不足し、特命での随意契約でさえも時間を要し、契約以後も技術者の不足、資機材不足により、工事進捗に大幅な遅延をもたらした。 未曾有の震災後の非日常のなかで、資機材・技術者不足で計画的な進捗もままならない状況で、膨大な被災写真を撮影し、整理することは困難であった。 (共同調理場) 施設の所有形態(市又はPFI事業者の所有)により、施設の復旧時期がずれ、再開時期に差が生じてしまっ						
③ 東日本大震災を受けて、今後の学校施設整備で重要と考えることは？ 天井、バスケットゴール及び照明器具などの二次部材の耐震化が必要である。大きな与信が繰り返されるなか、二次的な被害を避けるためには、原形復旧に限定せず、落下防止など、被災した建物についての復旧と同時に予防復旧や耐震性を高めるための補強工事・耐震化工事も必要と考える。 (共同調理場) 耐震性の高い施設整備に加えて、復旧工事を迅速かつ円滑に進める体制の確立						